

**【氏名】**

杉野 伸治（スギノ シンジ）

**【所属】**

KARADA CONDITIONING 「THANKS」 代表

〒854-0062 長崎県諫早市小船越町 1131-3

mail : kc.thanks2015@gmail.com

TEL: 0957-56-9558 携帯 090-8627-0358

HP : <http://www.kcthanks.com/>

**【職歴】**

1999 年 4 月 医療法人 慧明会 貞松病院リハビリテーション科

2012 年 4 月 医療法人 慧明会 貞松病院理事

2015 年 5 月 THANKS 設立

**【資格】**

理学療法士【理学療法士名簿登録番号 31338 号 登録年月日 平成 11 (1999) 年 4 月 30 日】

**【学位】**

学士（教養）【第 048405 号 平成 20 (2008) 年 3 月 16 日】

修士（医科学）【医修第 149 号 平成 27 (2015) 年 3 月 24 日】

**【学歴】**

長崎医療技術専門学校 理学療法学科 平成 11 (1999) 年 3 月 卒業

佐賀大学大学院 医学研究科 医科学専攻 修士課程 平成 27 (2015) 年 3 月 卒業

**【受賞】**

長崎県スポーツ功労顕彰 平成 31 (2019) 年 2 月

長崎県子ども・若者応援団表彰 青少年健全育成・支援部門功労賞 令和 4 年 (2022) 6 月

**【社会活動】**

・ 2006-14 : 日本オリンピック医科学スタッフ（バレーボール部門）

・ 2005-13 : 全日本バレーボール男子 U-20 メディカルトレーナー

[試合帯同]

第 5 回東アジア地区バレーボール選手権大会（台湾）2006

第 13 回バレーボールアジア U-20 男子選手権大会（イラン）2006

第 14 回世界ジュニア男子バレーボール世界選手権大会（U21）（アフリカ）2007

第 14 回バレーボールアジア U-20 男子選手権大会（イラン）2008

第 22 回アジア太平洋カップ福岡国際男子バレーボール大会 2010

第 2 回アジア男子バレーボールカップ（イラン）2010

第 15 回バレーボールアジア U-20 男子選手権大会（タイ）2010

第 16 回世界ジュニア男子バレーボール世界選手権大会（U21）（ブラジル）2011

第 16 回バレーボールアジア U-20 男子選手権大会（イラン）2012

第 17 回世界ジュニア男子バレーボール世界選手権大会（U21）（トルコ）2013

など

・ 2005-現在：東亜大学男子バレーボール部トレーナー

[試合帯同]

第 58～65 回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 2005～2014

第 31～38 回 西日本バレーボール大学男子選手権大会 2005～2014

第 62～74 回中国大学バレーボールリーグ戦大会 2005～2014

など

・ 2010-現在：長崎県バレーボール協会医科学委員会

[試合帯同]

第 64 回国民体育大会バレーボール成年男子 2009

第 66 回国民体育大会バレーボール成年男子 2011

第 68 回国民体育大会バレーボール成年男子 2013

第 69 回国民体育大会バレーボール成年男子 2014 優勝

第 30 回九州ブロック大会バレーボール成年男子 2010

第 31 回九州ブロック大会バレーボール成年男子 2011

第 32 回九州ブロック大会バレーボール成年男子 2012

第 34 回九州ブロック大会バレーボール成年男子 2015

第 70 回国民体育大会バレーボール少年女子 2015 優勝

第 71 回国民体育大会バレーボール少年女子 2016

など

・ 2009-2018：Nagasaki Orthopaedic & Sports Physical Therapy(NOSPT) 代表

### 【所属学会】

日本理学療法士会

長崎県理学療法士会

日本臨床スポーツ医学会

日本整形外科スポーツ医学会

日本バレーボール学会

### 【著 書】

自制心 目標達成のために必要な生活習慣トレーニング 東京図書出版

### 【共同著書】

ACL 損傷予防プログラムの科学的基礎 NAP 社

コアコンディショニングとコアセラピー 講談社

筋・筋膜性腰痛のメカニズムとリハビリテーション NAP 社

ACL 再建術後のリハビリテーションの科学的基礎 NAP 社

**【学会活動 筆頭演者】**

・リアライン・バランスシューズ足関節用を用いたトレーニングが中・高校生女子バレーボール選手のパフォーマンス改善に及ぼす効果：無作為化対照研究 第 49 回日本理学療法学会学術大会 . 2014 年

杉野伸治、武藤雄亮、秋山祐樹、西浦知世、濱田孝喜、伊藤一也、沖田佑梨子、蒲田和芳、浅見豊子

・リアライン・バランスシューズ足関節用を用いたトレーニングが中・高校生女子バレーボール選手のパフォーマンス改善に及ぼす効果：無作為化対照研究 NSCA JAPAN,CONFERENCE2013 年

杉野伸治、武藤雄亮、西浦知世、濱田孝喜、伊藤一也、秋山祐樹、沖田佑梨子、蒲田和芳、浅見豊子

・リアライン・バランスシューズ足関節用を用いたトレーニングが中・高校生バレーボール選手のパフォーマンス改善に及ぼす効果：無作為化対照研究 日本義肢装具学会学術集会 2013

杉野伸治、武藤雄亮、西浦知世、濱田孝喜、伊藤一也、秋山祐樹、沖田佑梨子、蒲田和芳、浅見豊子

・リアライン・バランスシューズ足関節用を用いたトレーニングが足関節捻挫後の中・高校生女子バレーボール選手のパフォーマンス改善に及ぼす効果 第 48 回日本理学療法学会学術大会 . 2013 年

杉野伸治、武藤雄亮、秋山祐樹、西浦知世、濱田孝喜、伊藤一也、貞松俊弘、土居満、小林匠、窪田智史、蒲田和芳

・足関節用リアライン・バランスシューズトレーニングが中・高校生女子バレーボール選手のパフォーマンスに及ぼす効果 NSCA JAPAN,CONFERENCE. 2012 年

杉野伸治、武藤雄亮、秋山祐樹、西浦知世、沖田佑梨子、伊藤一也、貞松俊弘、土居満、蒲田和芳

・BalanceShoes training for correcting dynamic knee vargas: effect of a 15-minute warm-up program on improving athletic performance in volleyball players. Orthopaedic Research Society. 2011 年

杉野伸治、窪田智史、蒲田和芳

・バランスシューズを用いたトレーニングが高校・大学男女バレーボール選手のスポーツパフォーマンスに及ぼす効果:無作為化対照試験 NSCA JAPAN,CONFERENCE. 2010 年

杉野伸治、伊藤一也、窪田智史、能由美、石塚利光、蒲田和芳

・バランスシューズを用いた膝前十字靭帯損傷予防プログラムが高校・大学男女バレーボール選手のスポーツパフォーマンスに及ぼす効果 臨床スポーツ医学会学術集会. 2010 年

杉野伸治、窪田智史、蒲田和芳

・バランスシューズを用いた膝前十字靭帯損傷予防プログラムが高校女子バレーボール選手の跳躍パフォーマンスに及ぼす効果：無作為化対照試験 第 45 回日本理学療法学会学術大会 . 2010 年

杉野伸治、佐々野梨絵、秋山祐樹、蒲田和芳

・バランスシューズを用いた膝前十字靭帯損傷予防プログラムが高校女子バレーボール選手の跳躍パフォーマンスに及ぼす効果：無作為化対照試験 日本バレーボール学会. 2010 年

杉野伸治、蒲田和芳

・変形性膝関節症用装具“OA Fantasy”が膝関節キネマティクスに及ぼす効果 第 42 回日本理学療法学会学術大会. 2007 年

杉野伸治、貞清 正史、蒲田和芳、横山 茂樹、Scott A. Banks

・日本バレーボール男子 U-20 帯同報告 長崎県理学療法士学会

杉野伸治

・ストレッチポールを用いたコアコンディショニングの短期効果に関する実験的研究：健常者における立位矢状面脊椎アライメントおよび柔軟性に及ぼす効果 第 41 回日本理学療法学会学術集会.2006 年

杉野伸治、松尾礼美、廣庭美紀、貞松俊弘、蒲田和芳、横山茂樹、山本大造

## 【学会発表 共同演者】

・腰痛患者に対するリアライン・コアを用いた運動療法が体幹可動域および疼痛に及ぼす即時効果：ケースシリーズ 第 25 回日本臨床スポーツ医学会 2014

一瀬浩志、杉野伸治、伊藤一也、西浦知世、貞松俊弘、蒲田和芳

・リアライントレーニングが男女中高生アスリートの体幹可動域、腰痛に及ぼす即時効果：無作為化対照研究 第 25 回日本臨床スポーツ医学会 2014

沖田佑梨子、西浦知世、杉野伸治、武藤雄亮、一瀬浩志、伊藤一也、蒲田和芳、貞松俊弘

・The Effectiveness of the Balanceshoes Training to Reduce Lower Extremity Injuries in Adolescent Athletes: A Randomized Controlled Trial. 60th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society.

Satoshi Kubota, Shinji Sugino, Yuki Akiyama, Momoko Tanabe, Yusuke Takefuj, Kazuya Ito, Takumi Kobayashi, Yumi No, Kazuyoshi Gamada,

・骨盤・胸郭対称化を促す運動補助具が若年健常者の体幹可動域および骨盤・胸郭アライメントに及ぼす効果：無作為化対照研究 . NSCA JAPAN, CONFERENCE 2013 年

矢川華子、伊藤一也、杉野伸治、蒲田和芳

・骨盤・胸郭対称化を促す運動補助具が若年腰痛者の疼痛、体幹可動域、骨盤・胸郭アライメントに及ぼす効果：無作為化対照研究 NSCA JAPAN, CONFERENCE 2013 年

西浦知世、伊藤一也、杉野伸治、蒲田和芳

・骨盤・胸郭対称化を促す運動補助具が若年健常者の体幹可動域および骨盤・胸郭アライメントに及ぼす効果：無作為化対照研究 . 日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2013 年

西浦知世、伊藤一也、杉野伸治、蒲田和芳

・骨盤・胸郭対称化を促す運動補助具が若年健常者の疼痛、体幹可動域、骨盤・胸郭アライメントに及ぼす効果：無作為化対照研究 日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2013 年

伊藤一也、西浦知世、杉野伸治、秋山寛治、蒲田和芳

・リアライン・バランスシューズを用いたトレーニングが足関節捻挫後の中高生女子バレーボール選手のパフォーマンスに及ぼす効果 日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2013 年

武藤雄亮、杉野伸治、伊藤一也、沖田佑梨子、西浦知世、貞松俊弘、蒲田和芳

・トウサポート付きインソールがハイヒール着用中の女性の重心動揺に及ぼす効果 日本義肢装具学会学術大会 2013

星 賢治、小林匠、坂 雅之、是澤晃平、杉野伸治、蒲田和芳

・リアライン・インソールが健常者の重心動揺および歩行時下肢筋活動に及ぼす効果 日本義肢装具学会学術大会 2013

星 賢治、小林匠、坂 雅之、是澤晃平、杉野伸治、蒲田和芳

・足底第 4 趾列支持パッド付きインソールが中足骨頭部の足底圧分布に及ぼす影響. 日本義肢装具学会学術大会 2013

辻 洋平、杉野伸治、蒲田和芳

・The immediate effect of an exercise intervention using ATMOR 2 on pelvic alignment, lower thorax expansion and in patients with low back pain. 8th Interdisciplinary World Congress on Low Back & Pelvic Pain

Nishiura T., Ichinose H., Ito K., Sugino S., Gamada K.

・足関節用リアライン・バランスシューズトレーニングが中・高校生女子バレーボール選手のパフォーマンスに及ぼす効果 日本バレーボール学会 2013 年

沖田佑梨子、杉野伸治、武藤雄亮、秋山祐樹、西浦知世、蒲田和芳

・長崎県中高生バレーボール選手における体力測定とその現状 第 25 回九州・山口スポーツ医・科学研究会、2012 年

武藤雄亮、杉野伸治、秋山祐樹、西浦知世、沖田佑梨子、貞松俊弘、秋山寛治、土居満

・バランスシューズエクササイズが大学生女子バレーボール選手の足関節捻挫後パフォーマンス改善に及ぼす効果 第 25 回九州・山口スポーツ医・科学研究会、2012 年

西浦知世、杉野伸治、秋山祐樹、武藤雄亮、沖田佑梨子、貞松俊弘、秋山寛治、土居満、蒲田和芳

・バレーボール選手のジャンプ能力における足関節捻挫既往の影響 第 23 回長崎県理学療法士会学会、2012 年  
武藤雄亮、杉野伸治、秋山祐樹、伊藤一也、相川和史、貞松俊弘、土居満

・男子バレーボール選手の足関節および足部に対するリアラインアプローチの効果 第 24 回日本臨床整形外科学会、2011 年

一瀬浩志、杉野伸治、貞松俊弘、蒲田和芳

・Effects of a BalanceShoes training program on electromyographic muscle activation pattern in femal volleyball players. Orthopaedic Research Society、2011 年

窪田智史、杉野伸治、蒲田和芳

・バランスシューズを用いた膝前十字靭帯損傷予防プログラムが大学男子バレーボール選手の跳躍パフォーマンスに及ぼす効果：無作為化対照試験 日本バレーボール学会 2010 年、

蒲田和芳、杉野伸治

・ATM2 を用いた短時間の運動療法が伸展型腰痛症患者の骨盤アライメント、下位胸郭横径拡張および疼痛に及ぼす即時効果 第 45 回日本理学療法学会大会、2010 年

一瀬浩志、樋口隆志、杉野伸治、佐々野梨絵、貞松俊弘、秋山寛治、久我哲也、蒲田和芳、伊藤一也

・オーバーヘッド競技選手の胸郭・肩甲帯アライメントの左右差：横断研究 第 45 回日本理学療法学会大会、2010 年

樋口隆志、杉野伸治、一瀬浩志、佐々野梨絵、秋山寛治、貞松俊弘、久我哲也、蒲田和芳

・バランスシューズを用いた膝前十字靭帯損傷予防プログラムが大学男子バレーボール選手の跳躍パフォーマンスに及ぼす効果：無作為化対照試験 第 45 回日本理学療法学会大会、2010 年

蒲田和芳、杉野伸治、佐々野梨絵、秋山祐樹

・ストレッチポールを用いた PelCon プログラムが慢性非特異的腰痛に及ぼす効果 第 45 回日本理学療法学会大会、2010 年

新谷大輔、古川由美子(みすみ病院)、杉野伸治、蒲田和芳

・リアライン・インソールが脳卒中片麻痺患者の歩行・バランス機能に及ぼす効果 第 45 回日本理学療法学会大会、2010 年

柳田亜矢子、新谷大輔、(みすみ病院)、杉野伸治、蒲田和芳

・バランスシューズを用いたトレーニングが高校・大学男女アスリートの跳躍パフォーマンスに及ぼす効果 NSCA JAPAN,CONFERENCE、2010 年

伊藤和也、杉野伸治、窪田智史、能由美、石塚利光、蒲田和芳

・肩関節挙上動作に生じる脊椎伸展運動には主に下位胸椎が貢献する 第 42 回日本理学療法学会大会、2007 年  
西村朋美、蒲田和芳、横山茂樹、杉野伸治、一瀬浩志

・ストレッチポールを用いたコアコンディショニングの短期効果に関する実験的研究：体幹および四肢近位関節の柔軟性と矢状面脊椎アライメントに及ぼす効果 第 17 回日本臨床スポーツ医学会学術集会、2006 年

廣庭美紀、杉野伸治、貞松俊弘、山本大造、蒲田和芳、横山茂樹

・スパイナルマウスの信頼性について：矢状面レントゲン画像との比較によるスパイナルマウスの妥当性の検証 第 41 回日本理学療法学会学術集会、2006 年

松尾礼美、杉野伸治、廣庭美紀、蒲田和芳、横山茂樹、山本大造、貞松俊弘

・ Radiographic evaluation of an off-loading knee brace applying no direct force on the joint measured by a single-plane shape-matching technique. World Physical Therapy 2007. Vancouver, Canada

Sadakiyo, M.; Sugino, S.; Gamada, K.; Yokoyama, S.; and Banks, S. A.

・ Effectiveness of Core-Conditioning exercises using a stretch-pole on the spinal realignment and flexibility: A single-blinded randomized control trial. World Physical Therapy 2007. Vancouver, Canada

Sadakiyo, M.; Sugino, S.; Gamada, K.; Yamamoto, D.; and Yokoyama, S.

・ 骨盤非対称アライメントの臨床評価法の妥当性 日本理学療法学会大会, Vol. 2007 (2008)

西村恵子, 杉野伸治, 貞清正史, 岡 誠一, 蒲田和芳

・ ストレッチポール上でのエクササイズ中の腹横筋活動 日本理学療法学会大会, Vol. 2008 (2009)

新谷大輔, 古川由美子, 澤田尚幸, 上村龍輝, 杉野伸治, 蒲田和芳

・ ストレッチポールを用いたコアコンディショニングが体幹および肩関節柔軟性に及ぼす即時効果 日本理学療法学会大会, Vol. 2006 (2007)

森内美穂, 才木秀文, 蒲田和芳, 横山茂樹, 杉野伸治, 一瀬浩志

・ オーバーヘッド競技選手の胸郭・肩甲帯アライメントの左右差：横断研究 日本理学療法学会大会, Vol. 2009 (2010)

樋口隆志, 杉野伸治, 一瀬浩志, 佐々野梨絵, 秋山寛治, 貞松俊弘, 久我哲也, 蒲田和芳

・ 骨盤アライメント対称化エクササイズ (PelCon) がドロップジャンプ時の膝関節外反に及ぼす効果 日本理学療法学会大会, Vol. 2007 (2008)

吉原孝子, 能由美, 杉野美里, 堀泰輔, 末田達也, 杉野伸治, 一瀬浩志, 佐々野梨絵, 中山怜子, 蒲田和芳

・ ATM2 を用いた短時間の運動療法が伸展型腰痛症患者の骨盤アライメント、下位胸郭横径拡張および疼痛に及ぼす即時効果 日本理学療法学会大会, Vol. 2009 (2010)

一瀬浩志, 樋口隆志, 杉野伸治, 佐々野梨絵, 貞松俊弘, 秋山寛治, 久我哲也, 蒲田和芳, 伊藤一也

・ リアライン・インソールが脳卒中片麻痺患者の歩行・バランス機能に及ぼす効果 日本理学療法学会大会, Vol. 2009 (2010)

柳田亜矢子, 新谷大輔, 磯田幸一郎, 田中利佳, 中本瞳, 衛藤継富, 古川由美子, 上村龍輝, 山道和美, 杉野伸治, 蒲田和芳

## 【論文】

[筆頭]

・ 骨盤マルアライメントの原因因子の臨床評価 SportsMedicine No189 13-17、2017 4 月.

杉野伸治

・ コンディショニング 1: テニスプレイヤーの外傷・障害の予防とトレーニング法 臨床スポーツ医学 第 34 巻 第 5 号 474-480、2017 5 月

杉野伸治、濱田孝喜、武藤雄亮

・ バレーボールによる頸部・体幹の障害の理学療法における臨床推論 理学療法 第 33 巻 第 10 号 889-895、2016 10 月.

杉野伸治、伊藤一也、濱田孝喜、沖田佑梨子、木寺彩

・ 矢状面レントゲン画像との比較によるスパイナルマウスの妥当性の検証. ヘルスパフォーマンス理学療法研究 第 3 巻 第 3 号 123 - 127、2013 10 月.

杉野伸治、松尾礼美、廣庭美紀、横山茂樹、貞松俊弘、蒲田和芳

## [共同]

・ Effects of Training Program wearing Balance Shoes to Reduce Knee and Lower Extremity Injuries in Junior Athletes: A Randomized Controlled Trial. Int J Phys Med Rehabil 2015, 3:2

Satoshi Kubota, Shinji Sugino, Yuki Akiyama, Momoko Tanaka, Yusuke Takefuji, Kazuya Ito, Takumi Kobayashi, Yumi No and Kazuyoshi Gamada

・寛骨の非対称性アライメント評価法としての骨盤ローリングテストの信頼性 理学療法科学 28(6):795-799. 2013 伊藤一也、一瀬浩志、杉野伸治、樋口隆志、蒲田和芳

・高校生に対する胸郭コンディショニングプログラムが胸郭拡張性および肩甲骨アライメントに及ぼす効果：介入研究.

日本臨床スポーツ医学会誌 21(3): 744-751. 2013.

樋口隆志、一瀬浩志、伊藤一也、北野梨絵、貞清正史、杉野伸治、貞松俊弘、蒲田和芳

・バランスシューズエクササイズが大学生女子バレーボール選手の足関節捻挫後パフォーマンスに及ぼす効果. 九州・山口スポーツ・医科学研究会誌. Vol. 25 (2013) 8 月 P18-21.

西浦知世、杉野伸治、秋山祐樹、武藤雄亮、沖田佑梨子、貞松俊弘、秋山寛治、土居満、蒲田和芳

・ The effect of “the core conditioning exercises” using the stretch pole on thoracic Expansion difference in healthy middle-aged and elderly persons. Journal of Bodywork and Movement Therapies. 2012 Jul;16(3):326-9.

Shigeki Yokoyama, PT, PhD, Kazuyoshi Gamada, PT, PhD, Shinji Sugino, PT, Rie Sasano

・骨粗鬆症予防目的に成人女性を対象として行った運動療法についての無作為化対照試験. リハビリテーション医学 49(8): 531. 2012.

秋山寛治、杉野伸治、伊藤一也、宮崎絵里奈、川野沙也加

・高校生投手において、投球数増加が肩・体幹・股関節の回旋可動域、肩関節回旋筋力に及ぼす影響.

長崎理学療法 5 : 9-14 2004

赤瀬良裕、杉野伸治、貞清正史、村山みゆき、高橋千恵、松尾礼美、貞松俊弘、横山茂樹.

## 【紹介】

1977年5月30日(ゴミゼロ)に杉野家の次男として、長崎県諫早市森と山の自然に囲まれた森山町に誕生。少年時代は剣道、ソフトボールそして自然での遊びを満喫して自由に育つ。

転機が訪れたのは高校時代。障害を持った女性の『車椅子オーストラリア横断』の講演に衝撃を受け、障害を持った方々と向き合う仕事である“理学療法士”になることを決意。理学療法士になるまでは絶対に恋愛はしないと固く心に誓うが、敢え無く同じ学校に通う女性(現在の妻)に恋し数年間のお付き合いを経て25歳で結婚。理学療法士になってからはスポーツ整形外科病院に勤務しアスリートのリハビリテーションに携わる。

そんな中、全日本バレーボールU20メディカルトレーナーのオファーを受け様々な出会いや経験を積む機会を頂く。現在、40歳を過ぎ白髪も生え始めているが、これまで得ることのできた経験や知識を地域に貢献できる形に変えて恩返しができるかと、心と身体コンディショニング施設「THANKS」を立ち上げ奮闘中。

「THANKS」へは長崎県内外からの来客があり、スポーツ選手だけでなく子供からお年寄りまで利用されている。また、心のコンディショニングとして、学校への意欲を失った生徒や、ゲーム・スマホ依存による体調不良、スポーツでのストレスによる影響をもった子供たちも多く訪れる。さらに、子育て期の保護者(特に母親)も相談に多く訪れ、子供の視点からみたアドバイスを提供している。

2016年～2019年までに「THANKS」施設内での業務と並行して300カ所以上の学校・スポーツチーム・地域での講演活動を実施。座右の銘は「義をみて為(せ)ざるは勇なきなり」、人として正しいことをやれないのは勇気がないことだと自分に言い聞かせながら、子供たちのスポーツ環境・教育環境に関する講演は日程の合う限りを信念に取り組んでいる。